

2025年12月16日、八王子・清水入緑地。赤い実はサンシュユです。春先に葉が出る前に黄色い花を咲かせ、秋にグミに似た赤い実をつけますが、この実は12月の今になっても健在でした。ブルガリアにはセイヨウサンシュユの枝葉でヨーグルトを作る伝統的な方法があるらしいですね。写真下はサンシュユの隣りにあったコナラの紅葉です。（粕谷）

紅葉台



新聞

第220号

2026年

2月7日

発行人：関谷 孝

Blue * Bench (ブルー * ベンチ) 半田康子さん



毎月恒例のカワセミ会の湯殿川カウント。会員の目黒さんが雀模様のポシェットと財布を見せしてくれました。湯殿川沿いの素敵なお店で買ったとのこと。とても素敵なお持ち物に興味をも

ち早速お店を訪ねてきました。

場所は、北野街道沿いバス停上小比企で下車徒歩1分。バスはめじろ台～八王子駅南口が便利。または、京王線山田駅から徒歩10分。

HPには、【青い空と空を飛ぶ小鳥たちに思いを寄せて「布、糸、羊毛フェルト」を中心にもの作りをしている「Blue*Bench」のyakoです。小鳥との出会いを求めて家の近所を歩き回り、そこで出会った小鳥を羊毛フェルトで制作したり、小鳥柄の生地を見つけるとそれで布小物を制作したりするという日々です。そういう作品を空色の愛車(ブルーベンチ号)に積み込み、八王子市内のイベントやお知り合いのカフェ店頭にお邪魔して車両販売しております。自宅アトリエにてほぼ毎日何か作っておりますが、こちらでも販売しております。よろしければ覗きにきてみてくださいね】とあります。

北野街道沿いにある青い建物は一際目を引きまします。半田さんのアトリエ兼店舗です。店舗は独学でこつこつリノベし1年ばかりで完成させたそうです。そもそもブルーベンチという名前は公園にある青いベンチから。ベンチに手作り品を並べて販売したことがハンドメイドショップを始めたきっかけになり付けた名前です。

手仕事歴40年の半田さんは青森県で育ちました。母親が草木染めをしていたこともあり、自分もものづくりに興味を持ちました。「赤毛のアン」や「大草原の家」に憧れ、そんな生活を夢見ていたそうです。初めはパッチワークづくりに熱中しました。長い時間をかけ手間暇かける作品は世界に一つの心のこもった大作です。とても売ろうとは思わなかったそうです。

その後、自己流パッチワークキットをリュックに詰め込んでホビーラホビーレ（三菱鉛筆の手芸部門）の社長のもとにじかに会いに行き、見事採用されました。パッチワークの講師をしながら10年以上勤めました。

退職後も布小物を販売しつつ、手芸の様々な手法を一通り研究する中で羊毛制作が自分にとって一生ものであると実感。次男誕生をきっかけに自ら作ったものを自ら売るネット販売に徐々にシフトしていきました。入園入学用品、子供服をリメイクした名入りディディベアのオーダーを受けるなど、母親ならではの得意アイテムが人気

に。しかし、対面販売が好きな半田さんは八王子市内ショッピングの定休日を利用したワンデーショップやコンビニの駐車場を借りての販売を展開しました。そんな中2010年に八王子手仕事アートマーケットが富士森公園の浅間神社で始まったのをきっかけにブルー*ベンチ号での定期的な雑貨販売が本格的にスタートします。当時は移動販売車で雑貨を売る人がまだ少なく、草分け的存在でした。以降マーケットには毎月出店を欠かさない常連となり、お客様で賑わう人気店に。（富士森公園・毎月第2土曜日 10時から15時。雨天中止）

*八王子手仕事博覧会新聞山口幸子さんより記事一部抜粋

いつか自分のお店やアトリエをもちたいとの願いもあり、15年前に今の場所に引っ越して来ました。自宅裏手の湯殿川の川辺を散歩するのが日課となり、毎日カメラを片手に野鳥観察を楽しんでいます。野鳥を写真に収め、HPに掲載しています。野鳥への深い愛情溢れる写真は素晴らしく、魅力があります。

(右QRコードをご覧ください)

店内には羊毛フェルトの野鳥がたくさん並んでいました。その精密さと可愛さは是非実際に見てほしいです。半田さんが好きなのは渡り鳥のツバメ。1羽仕上げるのに、大体3日間。事前予約が必要です。

また、鳥モチーフの布小物は青森出身の木部一樹さんの画集に魅せられ、画集に描かれた野鳥を木部さんの妹さんがプリントした布を使って作られています。高校時代に英語の先生から紹介された木部さんの妹さん（くるみさん）の作品を30～40年たってから偶然に出会ったそうです。他にも野鳥をプリントした布を見付け、小物を作っています。今は、野鳥観察をしながら、**野鳥の羊毛フェルトと小物づくりをお店の看板にして販売**しています。関心がありましたらお出かけになってみてください。私もポシェットと財布を買ってきました。手作り品は丁寧で使いやすく工夫されていて気に入っています！これだけの手間暇をかけた作品は他にはないです。

場所：八王子市小引町1832-1 電話080 1120 8301

オープン：月曜から木曜10時から16時

お休み：金土日祝祭日

粕谷和夫の観察日記

西武鉄道ウォーキング&ハイキングで豊島

園駅から千川上水跡通りを歩き、千川駅にゴールしました（12月17日）。スタート地点の豊島園駅近くの石神井川にカワセミがいました。千川通りは両側が11階建てのマンションが並ぶ殺風景な所の連続で、鳥には全く会わず、**ツツブキ**が路上脇に1株咲いていたのがただ一つに救いでした。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。